

2020年1月14日 第19回定期総会 白石衆議院議員を講師に年金問題の学習

去る11月23日、JAM愛媛高齢者・退職者の会第19回定期総会が新居浜市高木町の「レイグラッツエふじ」で40名出席（来賓含む）のもと開かれた。

開会挨拶を前田副代表幹事、総会議長に井関退職者の会の門田氏を選出して進行。

冒頭、森永代表幹事が挨拶の中で「近年自然災害が多発しており、本日も会場内の支援カンパ箱でお願いをしている。当シニアの会員が減少傾向にあるため、日頃から現役と連携した組織拡大の取り組み（調査票での対象者事前把握）をはじめ、総会議案書に記載の諸活動の強化を」など訴えた。

続いて来賓では、JAMシニアクラブの早川事務局次長、石川稔愛媛県議会議員、退職者連合・織田事務局長、現役組合を代表してJAM愛媛地協・山川副議長、国民共済COOP愛媛・中村新居浜支部所長及び労働金庫東予ブロックの杉統括店長からそれぞれ連帯・激励などの挨拶。寄せられたメッセージ（白石洋一衆議院議員）を為清事務局次長が読み上げ披露した。このあと議事に入り、2019年の活動経過と決算報告、20年度活動方針案と予算案、役員改選（全員留任、但し井関邦栄の組織統合に伴い1名減）案などがいずれも賛成多数で承認された。

議事終了後、昼食兼懇親交流。引き続き午後13時から、現役（新たに役員も加わり総勢43名）とシニアの共通課題でもある「年金問題学習会」を（講師は白石衆議院議員）開催した。

この中で現行年金制度の概要説明と国の年金部会で出された資料をもとに、ホワイトボードを使って解説。特に現職高齢年金制度の厚生労働省見直し案では、低年金者にメリットがなく負担増、相対的に年金が減るとして同議員が撤回を強く訴え、与党内からも批判が出され現状維持の見通し。質疑を含め一定の理解を得ることができた。

白石議員がホワイトボードを使い講演

